

## DTIC単独療法

患者ID: @PATIENTID

患者氏名: @PATIENTNAME

身長 (cm)	体重 (kg)	体表面積 (m <sup>2</sup> )
HEIGHT01_Dc	HEIGHT01_Dc	#VALUE!

投与スケジュール: 1コース 21-28日間

使用薬剤:

ダカルバジン (DTIC): (ダカルバジン) 100mg/V

注意: ダカルバジンは血管痛予防のため全ルート遮光し、血管痛が強ければ投与速度を減速。

投与量:

薬剤	投与量	計算値	投与量 (mg)	投与日
ダカルバジン (DTIC)	1000 mg/m <sup>2</sup>	#VALUE!		1

&lt;&lt; タイムスケジュール: 開始時刻 &gt;&gt;

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

Day1	1月1日 (金)	
	0時00分	<b>内服</b> アプレピタントカプセル 125mg 1×(1) ダカルバジン開始1時間前頃
	0時45分	① 生理食塩液 50mL + グラニセトロン 1A + デキサート 9.9mg 15分で点滴静注
	1時00分	② 5%ブドウ糖液 250mL + <b>ダカルバジン (DTIC) 0mg</b> 光分解物による血管痛 (激痛) 予防の為、全ルート遮光し、調製後速やかに投与。 1時間で点滴静注
	2時00分	③ 生理食塩液 50mL フラッシュ
Day2~3	1月2日 (土) ~ 1月3日 (日)	
	起床後	<b>内服</b> アプレピタントカプセル 80mg 1×(2) 起床後 デキサート(4mg) 2錠 2×(2) 朝・昼食後

## REFERENCE

By Paul B. Chapman, Lawrence H. Einhorn, Michael L. Meyers, et al. :J Clin Oncol 17:2745-2751  
Phase III Multicenter Randomized Trial of the Dartmouth regimen Versus Dacarbazine in Patients with Metastatic Melanoma  
化学療法プロトコール審査委員会承認: 2015年6月8日



.

.....



anoma